

伴走型相談支援

- 伴走型相談支援の面談実施イメージ（全体像）
- 伴走型相談支援の実施体制（面談の実施機関・実施者）
- 面談の内容・実施方法（1回目～3回目の面談）
- 産後の育児期の随時の情報発信・相談受付等
- 伴走型相談支援の効果的な実施（記録の管理・関係機関との共有・連携）
- 市区町村の検討状況（アンケート結果）
- アンケートのひな形・例（妊娠届出時、妊娠8か月頃）
- 子育てガイドのひな形（妊娠期、産後・子育て期）
- 出産・子育て応援ギフト申請書のひな形
- 自治体からの質問が多かったQ&A

伴走型相談支援の面談実施イメージ（全体像）

- 孤立感や不安感を抱く妊婦や子育て家庭が少ない状況に鑑み、**全ての妊婦や子育て家庭を対象**
- 出産・育児の見通しを立てるための面談は①**妊娠届出時**、②**妊娠8か月前後**、③**出生届出から乳児家庭全戸訪問までの間**で実施
- 面談の**対象者**は、**妊婦・産婦（夫・パートナー・同居家族も一緒に面談することを推奨）**

妊娠期の夫婦

①初めて妊娠した妊婦



出産までの過ごし方がわからない…。

妊娠届出面談



出産応援ギフト

②妊娠8か月頃の妊婦と育休取得に悩む夫



そろそろ出産間近だ。子育てできるかな…。出産後に必要な手続きがわからない…。

妊娠8か月面談



育休を取って、赤ちゃんの身の回りの世話や家事がうまくできるだろうか…。

産後の夫婦

③出産直後の夫婦と育休取得中の夫婦



育児の悩みの共有、情報交換等が気軽にできる仲間がほしい…。

夜泣きがひどくて眠れず、育児疲れが…。保育園入園手続きしなくては…。

出生届出面談



子育て応援ギフト

乳児家庭全戸訪問

伴走型相談支援

子育てガイドを一緒に確認。**出産までの見通しを寄り添って立てる**

子育てガイドを基に、出産時、産後の支援・手続きを一緒に確認。**産前・産後サービス利用を一緒に検討・提案**

夫の育児休業取得の推奨、赤ちゃんを迎える心構え、育児を学ぶ両親学級・育児体験教室等を紹介

ピアである**先輩家庭と出会う機会、父親交流会**など、他の親との世間話、情報交換、**悩みを共有できる仲間作りの機会の紹介**

産後ケア等のサービス紹介、育休給付や保育園の入園手続き、求職相談窓口の紹介

妊娠期・子育て期の支援サービス

産科医療機関



妊婦健診 など

出産応援ギフトを交通費等に活用

市区町村、地域子育て支援拠点



両親学級



育児体験・出産前教室、
出産前夫婦の集い



子育てサークル、父親交流会 など

産後ケア、訪問家事支援、
保育園・幼稚園 など

子育て応援ギフトを産後ケア、家事支援サービスの利用料等に活用



宿泊型・
通所型・
アウト
リーチ型



訪問家事支援 入園手続き など

いつでもかかりつけの相談機関とつながり、身近で相談できる安心感・「孤育て化」の防止

伴走型相談支援の実施体制（面談の実施機関・実施者）

- 実施主体は、妊婦との接点の入口となる妊娠届出の窓口で、保健師・助産師等が配置された市町村子育て世代包括支援センター等
- 一方、本事業の面談対応は、保健師等の専門職の知見を必ずしも要するものではなく、各自治体の人員体制や地域資源等の地域の実情に応じて実施体制を柔軟に構築した上での対応を可能とする観点から、**面談の実施機関・実施者**は、以下のいずれでも可とする。
 - ・ 市町村（**子育て世代包括支援センター等**）の**保健師・助産師等**、又は一定の研修を受けた**一般事務職員・会計年度任用職員等**
 - ・ **身近で気軽に相談できる地域子育て支援拠点・保育所等**の、一定の研修を受けた**保育士・利用者支援専門員・子育て支援員等**
- **出産・子育て応援交付金**にて、**伴走型相談支援の体制整備に係る予算を計上**しており、地域子育て支援拠点等への委託等も可能。

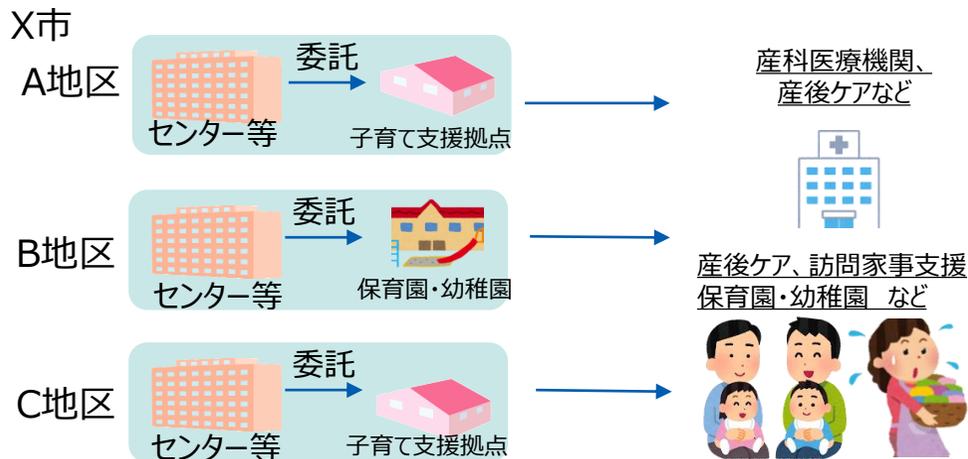
市町村による伴走型相談支援体制の構築のイメージ例



※面談は、保健師や助産師等のほか、一定の研修を受けた市町村の一般事務職員や保育士、利用者支援専門員、子育て支援員等による実施も可
 ※特に、妊娠8か月頃の面談、出生届出後の面談については、身近で気軽に相談できる地域子育て支援拠点や保育所等の相談機関への委託を推奨

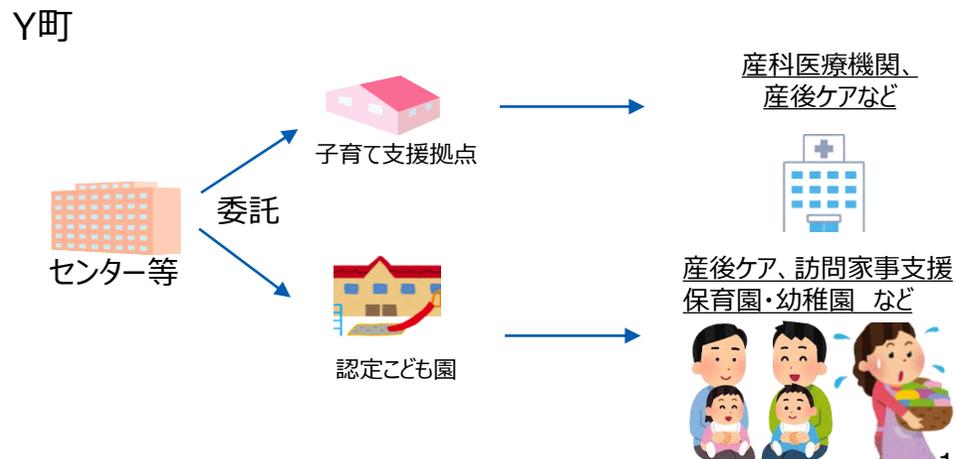
モデル例 1（大規模自治体）

市内3箇所のセンターそれぞれが市内の特定の地域子育て支援拠点、保育所・幼稚園等に事業委託をし、各センター管轄内で事業を実施



モデル例 2（小規模自治体）

市内1箇所のセンターが市内の地域子育て支援拠点と認定こども園の2箇所に委託し、同センター管轄内を分割して事業を実施



妊娠届出時の面談の内容・実施方法（1回目の面談）



- 妊婦のお困りごとや心配ごとを初めて把握する重要な機会であることや、信頼関係を構築する観点から、妊婦の表情や様子を見ながら対話ができる、**対面による面談（オンライン含む）を原則**とする
- 「アンケート」や「子育てガイド」を活用しながら、**出産までの見通しを立てる**とともに、出産・子育て応援交付金事業の流れを説明
- 面談終了後、**出産応援ギフト（5万円相当）を支給**する

【面談時の実施内容】

（必須事項） ※妊娠届出時とは別日に面談日を設定しての実施も可

- ①妊婦にアンケートを記入してもらう
- ②子育てガイドを手交。妊娠期の過ごし方や利用できるサービス等を一緒に確認、チェック
- ③伴走型相談支援の今後の流れ（※）の案内
 - ※ 妊娠8か月頃・出生届出後の面談やその後の子育てに関するプッシュ型の情報発信等
- ④出産・子育て応援ギフトを案内し、出産応援ギフトの申請書を記入してもらう
 - ※ 関係機関への情報の確認や共有についての同意取得

（推奨事項）

- ・妊婦等のマイナンバーカード交付申請（※）やマイナポータルによる公金口座登録のやり方を案内しながら推奨（※）カードを持っておらず、未申請の場合

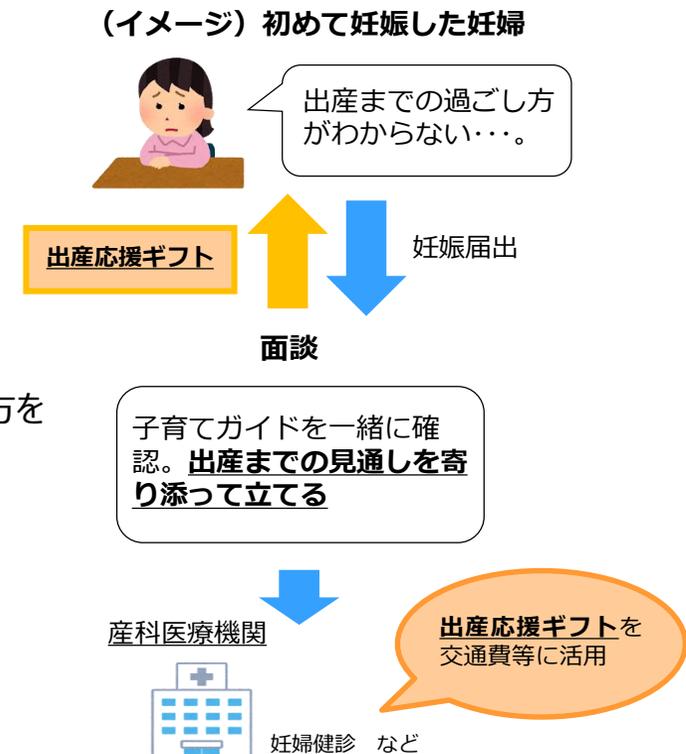
- ## 【配付物】
- ・アンケート、子育てガイド
 - ・出産応援ギフト（紙クーポン（商品券や利用券等））
 - ※ 電子クーポン等の場合は、手続き終了後、後日郵送も可

【面談方法】

表情を見て雰囲気を感じ取る観点、顔の見える関係づくりの観点から、以下を原則とする。

- ・対面による面談
- ・SNSやアプリ等でのオンライン面談（画面上で対面）

※ 妊婦側にやむを得ない事情がある場合は、アウトリーチ型（自宅訪問）による面談が望ましい。それもできない場合はアンケート回答と電話による確認も可。



妊娠8か月頃の面談の内容・実施方法（2回目の面談）



- 妊娠8か月頃は、出産を間近に控え、出産準備や産後のことをより具体的に考え始める時期であるとともに、産前休暇を取得し始めるタイミングで、妊婦が比較的時間をとりやすい時期でもあることから、**妊娠7か月頃に、妊娠8か月面談の案内文とアンケートを郵送。**
- **希望者に対し、妊娠8か月頃に面談を実施**（対面による面談（オンライン含む）を原則）。面談時にアンケートと子育てガイドを活用し、**産後の見通しを立てる。** ※子育て世代包括支援センターから身近で気軽に相談できる地域子育て支援拠点や保育園等の相談機関への委託を推奨

【面談の事前対応】

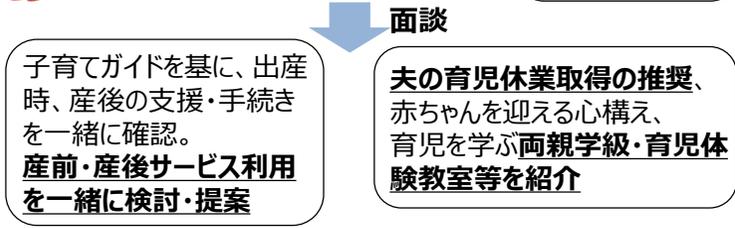
- ・妊娠7か月頃の妊婦をリスト抽出し、アンケートと案内文を郵送
- ※ 案内文では、アンケートの回答の返送依頼、面談希望者には面談日程を調整すること、面談時には子育てガイドを持参すること等を記載

面談を希望しない方については、
 ①アンケート結果により、支援が必要と判断される場合は面談を調整
 ②①以外の場合でも、連絡体制を確保し、情報提供するなどして、伴走支援を効果的に実施

【面談の実施内容】

- ①妊婦が返送したアンケートの回答内容を基に、一緒に状況確認
 - ②子育てガイドを活用し、産前産後の過ごし方、分娩入院に必要なもの、その他産後の必要な手続きや利用できるサービス等を一緒に確認、検討し、子育てガイドのチェック欄にチェックを入れるなど、出産後の見通しを寄り添って立てる
- ※ 面談は、妊婦に加え、その夫・パートナー・同居家族も一緒に実施することを推奨
 - ※ 案内文に、両親学級や育児体験教室等を紹介し、当該イベント終了後に面談実施する旨を案内するなど、面談の敷居が高まらないような創意工夫による柔軟な運用を推奨

（イメージ）妊娠8か月頃の妊婦と育児取得に悩む夫



【配付物】

- ・各自治体の創意工夫に基づく配付物があれば、必要に応じて配付

【面談方法】

表情を見て雰囲気を感じ取る観点、顔の見える関係づくりの観点から、以下を原則とする。

- ・対面による面談
- ・SNSやアプリ等でのオンライン面談（画面上で対面）

※ 面談を希望する場合で妊婦側にやむを得ない事情がある場合は、アウトリーチ型の自宅訪問による面談が望ましい。それでもできない場合はアンケート回答と電話による確認も可。



出生届出から乳児家庭全戸訪問までの間の面談（3回目の面談）



- 出産後の育児の悩みや疲れ等に寄り添って相談支援を行うため、**出生届出後～乳児家庭全戸訪問までの間**に、子育てガイドに沿って面談を行う。 ※子育て世代包括支援センターから地域子育て支援拠点等のかかりつけ相談機関への委託を推奨
- 面談終了後、**子育て応援ギフト（5万円相当）**を支給する

【面談時の実施内容】

- ① 子育て家庭（養育者）にアンケートを記入してもらう
- ② 子育てガイドに沿って、悩みを共有できる仲間作りの機会の紹介や、産後ケア等の利用できるサービスの紹介、育休給付や保育所等の入園手続等を確認
- ③ 子育て応援ギフトの案内、子育て応援ギフトの申請書を記入してもらう
 ※ 関係機関への情報の確認や共有についての同意取得

【配付物】

- ・ 各自治体の創意工夫に基づく配布物があれば、必要に応じて配布
- ・ 子育て応援ギフト（紙クーポン（商品券や利用券等））
 ※ 電子クーポン等は手続き終了後、後日郵送も可

【面談のタイミングと方法】（※SNSやアプリ等によるオンライン面談も可）

以下の方法を想定

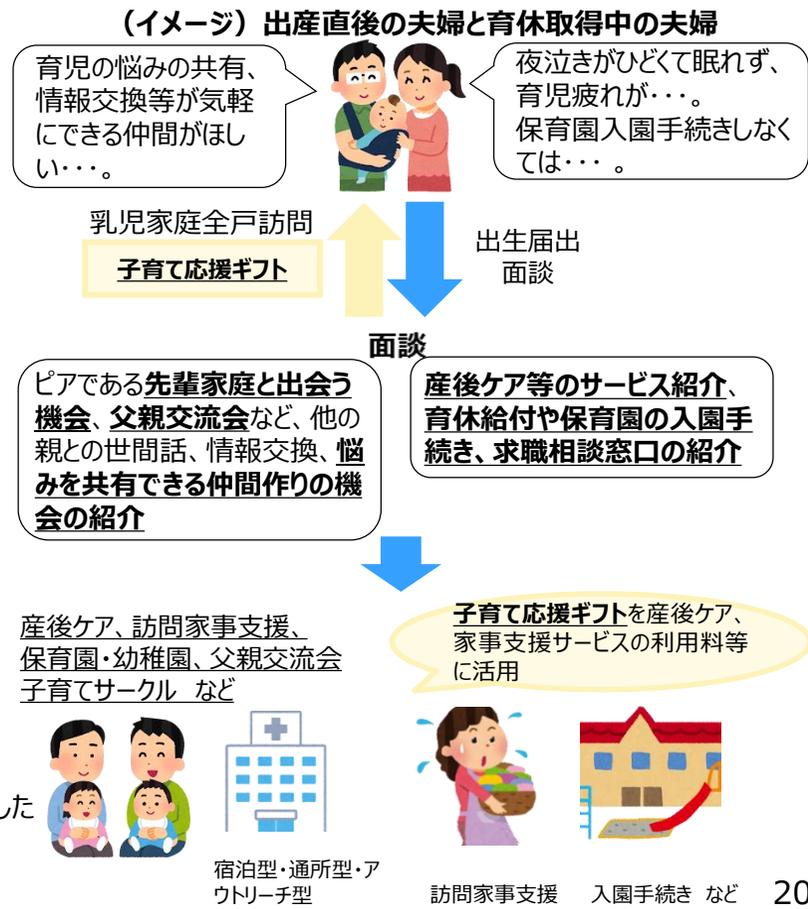
① 出生届出時に面談

市町村の出生届出窓口職員が、子育て世代包括支援センターの窓口立ち寄りよう誘導し、センターで面談を行う（ただし、産婦は出産直後であることに十分に配慮）

② 出生届出と乳児家庭全戸訪問の間に面談（新生児訪問時など）

市町村の出生届出窓口から子育て世代包括支援センターに出生届出の情報を共有。センターや身近な相談機関から子育て家庭に連絡し、面談を行う
 ※ 委託を受けた子育てひろばが、新生児訪問時に同行訪問したり、産後2～3ヶ月児の親子を対象とした交流イベントを案内し、終了後に面談実施、など、面談の敷居が高くないような創意工夫を推奨

③ 乳児家庭全戸訪問時に面談 この機会を活用し、面談を実施



産後の育児期等（随時の情報発信・相談受付等）



○ 3回の面談の実施後も、**緩やかな伴走型支援**として、妊婦や子育て世帯に対して、子育て支援等に関するイベント情報等の**随時の情報発信や、随時の相談受付等**を継続的に実施する。

【イベント情報等の情報発信の実施内容】

・妊婦や子育て世帯に対して、**子育て関連アプリやSNS、オンライン等を活用**しつつ、**プッシュ型**による子育て支援等に関するイベント情報等の**随時の情報発信**を実施する。

【随時の相談受付の実施内容】

・3回の面談等の実施後も、育児に関する悩みや不安、孤独感を抱えることなどもあることから、上記の情報発信時に、気軽に相談できる連絡先・担当者名を記載しておくこと等を通じて、随時の相談受付を実施する。

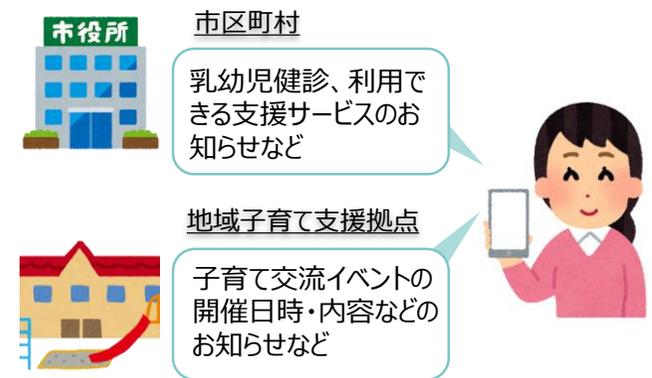
・相談受付は、1対1の対面面談の他、電話やSNSを活用した相談受付の方法も考えられる。また、委託を受けた子育てひろばが、子育て交流イベントの実施時に、参加者が気軽に相談を行うことができる機会を設けるなど、地域の実情に応じた創意工夫の取組が考えられる。

【情報発信等に活用するシステムについて】

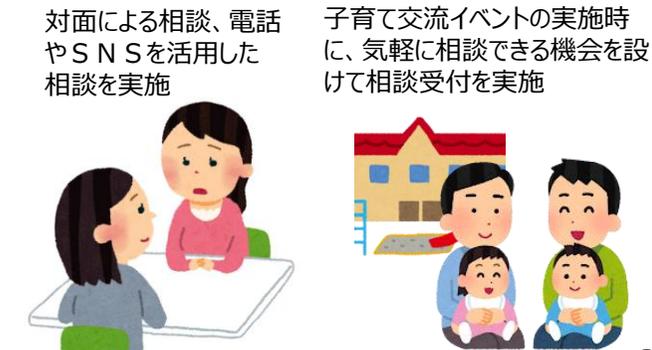
・令和4年度補正予算に計上した「出産・子育て応援交付金」では、**システム構築等の導入経費**を補助。この中で、**市町村がプッシュ型の情報発信や相談支援等を行うシステム（子育て関連アプリなど）の導入経費も補助対象**としている。

・また、今後**国としても**、子育てアプリ・サイト・電子クーポンによる子育て支援について、内閣官房子ども家庭庁設立準備室において12月20日に設置された「**こども政策DX推進チーム**」の下、自治体等と意見交換をしつつ、デジタル化の課題抽出やそれを踏まえた普及方法の検討、またそれに伴った国の支援等について議論していく予定。

（イメージ）随時のイベント情報等の情報発信



（イメージ）随時の相談受付



伴走型相談支援の効果的な実施（記録の管理・関係機関との共有・連携）

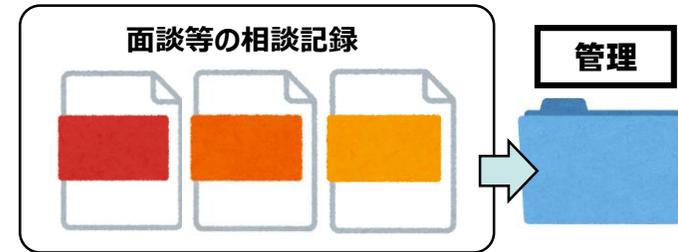


【全ての面談・情報発信等で共通】

- 伴走型相談支援として実施する3回の面談や、その後の情報発信・随時の相談受付を効果的に実施するため、面談等の相談記録の管理や、関係機関との連携を適切に実施する。

【面談等の相談記録の管理】

- ・ 面談等の対象者から提出のあった妊娠届出時アンケート等や子育てガイドを含む面談等の相談記録を適切に管理する。



【関係機関との共有・連携】

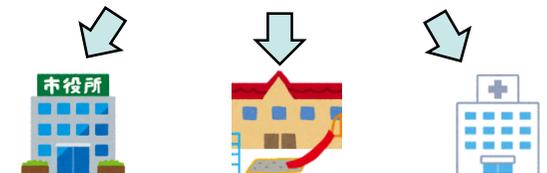
- ・ 出産・子育て応援ギフト申請書等により取得することとしている、妊婦や子育て世帯からの関係機関等との必要な情報の確認や共有に係る同意（P32参照）に基づき、必要に応じて関係機関とも面談等の相談記録を共有し、密に連携を図りながら伴走型相談支援を実施する。

また、

- ① 1回目の面談は子育て世代包括支援センターで実施するが、2回目以降は地域子育て支援拠点等に委託して面談を実施する場合、
- ② 妊婦等が他の市町村に転出する場合、などについて、相談記録を確実に引き継ぎ、支援をつなげていく。



妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる伴走型の相談支援を通じて、担当職員と支援対象者との信頼関係（顔の見える関係）を構築するとともに、面談等の相談記録を適切に管理し、本人の同意のもと関係機関とも共有することで、これまで以上に効果的な支援を実施する。



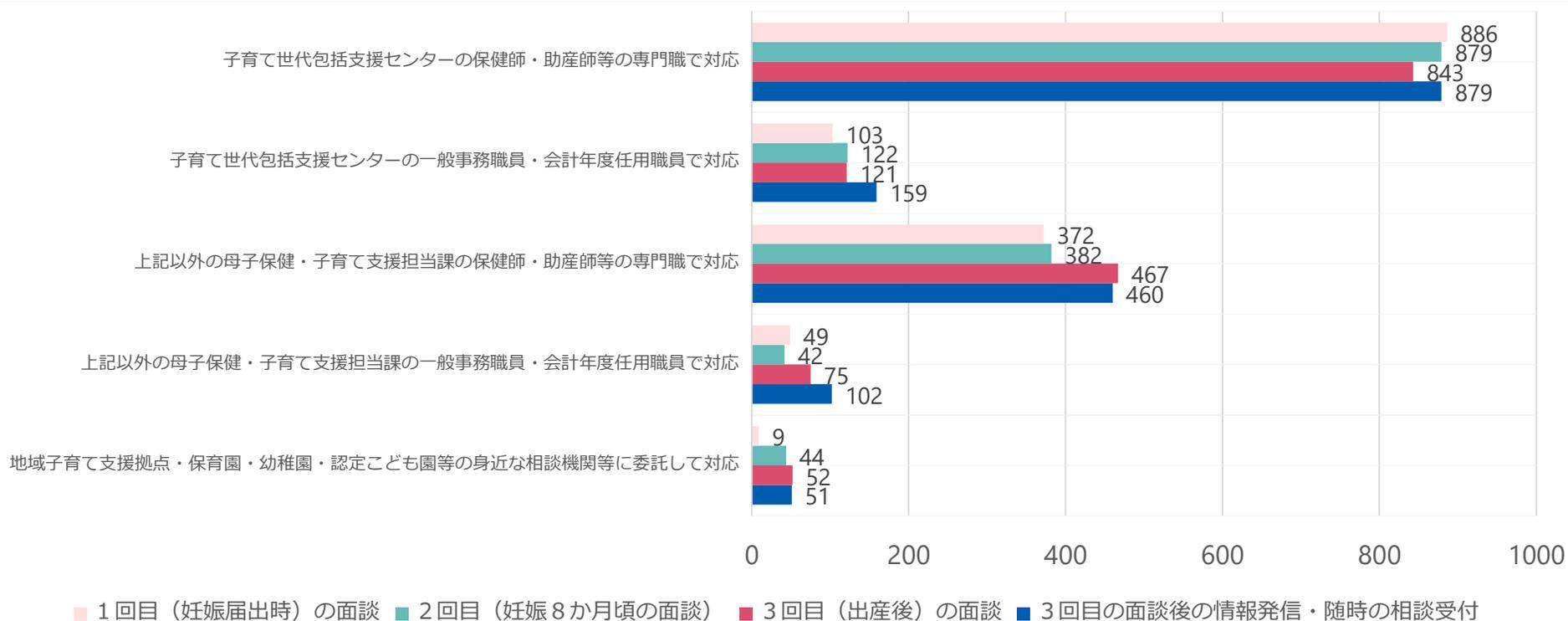
本人の同意のもと、関係機関とも共有

検討状況のアンケート結果（市区町村） ※12月16日 17時時点

回答数：970自治体

○ 伴走型相談支援に係る面談等の実施体制（実施主体、担当者） ※複数選択可

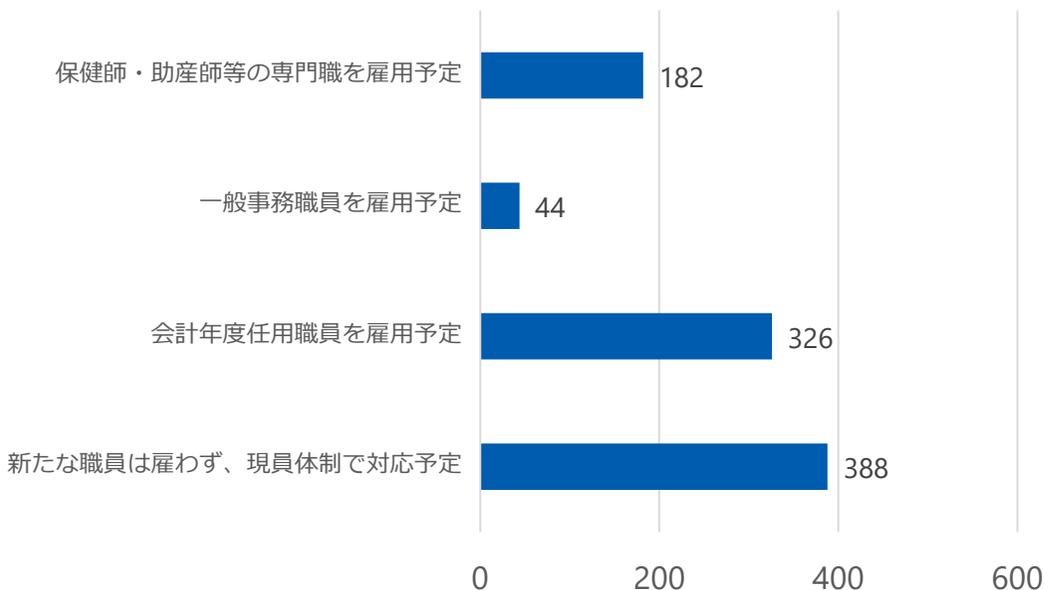
	1回目（妊娠届出時）の面談	2回目（妊娠8か月頃）の面談	3回目（出産後）の面談	3回目の面談後の情報発信・随時の相談受付
子育て世代包括支援センターの保健師・助産師等の専門職で対応	886	879	843	879
子育て世代包括支援センターの一般事務職員・会計年度任用職員で対応	103	122	121	159
上記以外の母子保健・子育て支援担当課の保健師・助産師等の専門職で対応	372	382	467	460
上記以外の母子保健・子育て支援担当課の一般事務職員・会計年度任用職員で対応	49	42	75	102
地域子育て支援拠点・保育園・幼稚園・認定こども園等の身近な相談機関等に委託して対応	9	44	52	51



回答数：970自治体

○ **前頁の問で「地域子育て支援拠点・保育園・幼稚園・認定こども園等の身近な相談機関等に委託して対応」以外を選択した市区町村について、伴走型相談支援を実施するための新規職員の雇用の有無 ※複数選択可**

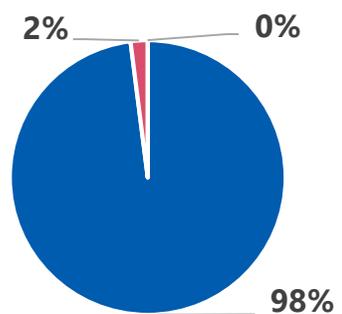
保健師・助産師等の専門職を雇用予定	182
一般事務職員を雇用予定	44
会計年度任用職員を雇用予定	326
新たな職員は雇わず、現員体制で対応予定	388



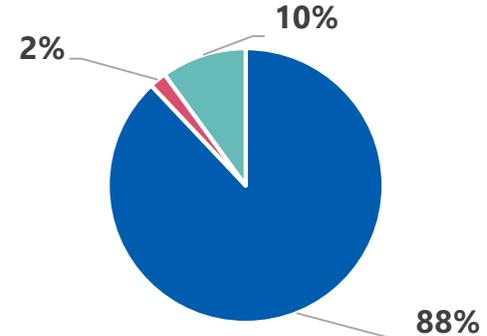
○ **面談の実施方法（予定）**

	1回目（妊娠届出時）の面談	2回目（妊娠8か月頃）の面談	3回目（出産後）の面談
対面による面談を実施予定	952	851	949
SNS・アプリ等を活用したオンライン面談（画面上の対面）を実施予定	3	24	3
その他の方法により実施予定	15	95	18

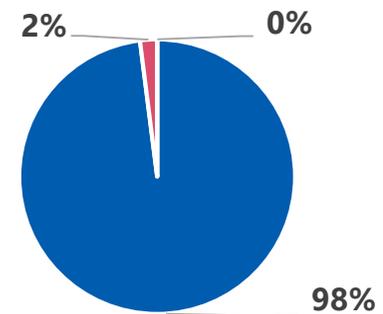
1回目（妊娠届出時）の面談



2回目（妊娠8か月頃）の面談



3回目（出産後）の面談

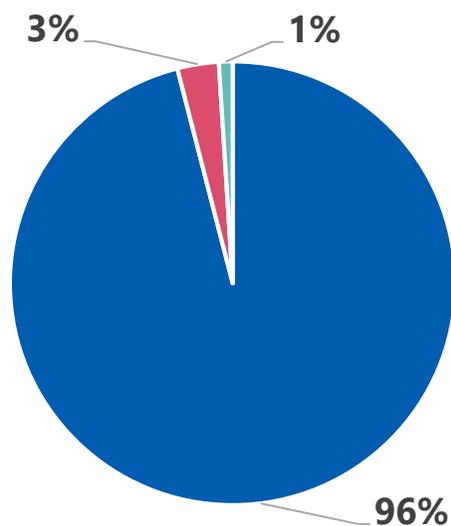


検討状況のアンケート結果（市区町村） ※12月16日 17時時点

回答数：970自治体

○ 1回目（妊娠届出時）の面談の実施時期

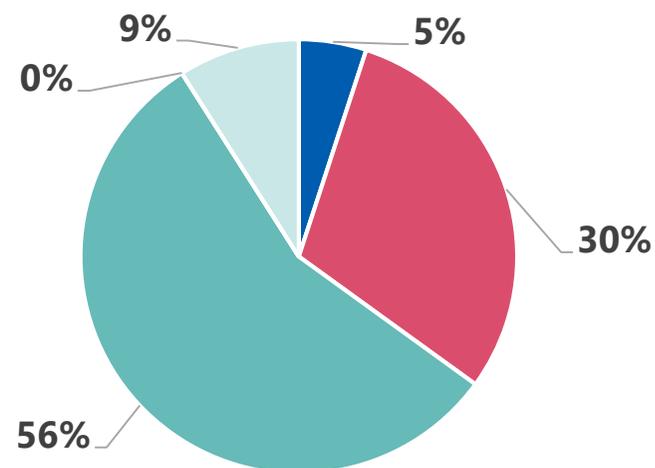
妊娠届出時	927
妊娠届出後に面談日を別途調整	30
その他	13



■ 妊娠届出時 ■ 妊娠届出後に面談日を別途調整 ■ その他

○ 3回目（出産後）の面談の実施時期

出生届出時	50
新生児訪問時	287
乳児家庭全戸訪問時	546
産後2～3か月児の親子を対象とした交流イベント時	2
その他	85



■ 出生届出時
 ■ 新生児訪問時
 ■ 乳児過程全戸訪問時
 ■ 産後2～3か月児の親子を対象とした交流イベント時
 ■ その他

妊娠届出時及び出生届出後面談に使用するアンケートのひな形

- 現在、各自治体においては、「妊産婦のメンタルヘルスマニュアル」（平成29年3月（子ども・子育て調査研究事業））に掲載されているチェックリスト・質問票のひな形を参考として、ほぼ全ての市町村で妊娠期や出生後のアンケートを作成しており、これに基づくアセスメントが行われているところ。
- 伴走型相談支援における①妊娠届出時、③出生届出後の面談においては、引き続き、現在各市町村で使用している、妊娠期・出生後のアンケート用紙を活用して、その回答結果を面談時等に活用していただくことを想定（アンケートは関係機関とも共有）。

妊産婦メンタルヘルスマニュアル（平成29年3月（公社）日本産婦人科医会作成。国の子ども・子育て調査研究事業で採択）に示されている様式

育児支援 チェックリスト (妊娠中・使用版)

母氏名	実施日	年	月	日	(産後)	日目
あなたへ適切な援助を行うために、あなたのお気持ちや育児の状況について以下の質問にお答え下さい。 あなたにあてはまるお答えのほうに、○をして下さい。						
1.	今回の妊娠中に、おなかの中の赤ちゃんやあなたの体について、 またはお産の時に医師から何か問題があると言われていましたか？					
	はい	いいえ				
2.	これまでに流産や死産、出産後1年間に お子さんを亡くされたことがありますか？					
	はい	いいえ				
3.	今までに心理的な、あるいは精神的な問題で、 カウンセラーや精神科医師、または心療内科医師 などに相談したことがありますか？					
	はい	いいえ				
4.	困ったときに相談する人についてお尋ねします。					
	①夫には何でも打ち明けることができますか？					
	はい	いいえ	夫がいない			
	②お母さんには何でも打ち明けることができますか？					
	はい	いいえ	実母がいない			
	③夫やお母さんの他にも相談できる人がいますか？					
	はい	いいえ				
5.	生活が苦しかったり、経済的な不安がありますか？					
	はい	いいえ				
6.	子育てをしていく上で、今のお住まいや環境に満足していますか？					
	はい	いいえ				
7.	今回の妊娠中に、家族や親しい方が亡くなったり、あなたや家族や 親しい方が重い病気になったり、事故にあったことがありますか？					
	はい	いいえ				

育児支援 チェックリスト

母氏名	実施日	年	月	日	(産後)	日目
あなたへ適切な援助を行うために、あなたのお気持ちや育児の状況について以下の質問にお答え下さい。 あなたにあてはまるお答えのほうに、○をして下さい。						
1.	今回の妊娠中に、おなかの中の赤ちゃんやあなたの体について、 またはお産の時に医師から何か問題があると言われていましたか？					
	はい	いいえ				
2.	これまでに流産や死産、出産後1年間に お子さんを亡くされたことがありますか？					
	はい	いいえ				
3.	今までに心理的な、あるいは精神的な問題で、 カウンセラーや精神科医師、または心療内科医師 などに相談したことがありますか？					
	はい	いいえ				
4.	困ったときに相談する人についてお尋ねします。					
	①夫には何でも打ち明けることができますか？					
	はい	いいえ	夫がいない			
	②お母さんには何でも打ち明けることができますか？					
	はい	いいえ	実母がいない			
	③夫やお母さんの他にも相談できる人がいますか？					
	はい	いいえ				
5.	生活が苦しかったり、経済的な不安がありますか？					
	はい	いいえ				
6.	子育てをしていく上で、今のお住まいや環境に満足していますか？					
	はい	いいえ				
7.	今回の妊娠中に、家族や親しい方が亡くなったり、あなたや家族や 親しい方が重い病気になったり、事故にあったことがありますか？					
	はい	いいえ				
8.	赤ちゃんが、なぜむすかったり、泣いたり しているのかわからないことがありますか？					
	はい	いいえ				
9.	赤ちゃんを叩きたくることがありますか？					
	はい	いいえ				

出生届出後の面談に使用するアンケートのひな形

妊産婦メンタルヘルスマニュアル（平成29年3月（公社）日本産婦人科医会作成。国の子ども・子育て調査研究事業で採択）に示されている様式

赤ちゃんへの 気持ち質問票

母氏名 _____ 実施日 年 月 日（産後 日目）

あなたの赤ちゃんについてどのように感じていますか？
下にあげているそれぞれについて、いまのあなたの気持ちにいちばん近いと感じられる表現に○をつけて

	ほとんどいつも 強くそう感じる	たまに強く そう感じる	たまに少し そう感じる	全然 そう感じない
1) 赤ちゃんをいとおしいと感じる。	()	()	()	()
2) 赤ちゃんのためにしないといけないことがあるのに、おろおろしてどうしていいかわからない時がある。	()	()	()	()
3) 赤ちゃんのことが腹立たしくいやになる。	()	()	()	()
4) 赤ちゃんに対して何も特別な気持ちがわかない。	()	()	()	()
5) 赤ちゃんに対して怒りがこみあげる	()	()	()	()
6) 赤ちゃんの世話を楽しみながらしている。	()	()	()	()
7) こんな子でなかったらなあと思う。	()	()	()	()
8) 赤ちゃんを守ってあげたいと感じる。	()	()	()	()
9) この子がいなかったらなあと思う。	()	()	()	()
10) 赤ちゃんをとて身近に感じる。	()	()	()	()

エジンバラ産後うつ病 質問票

母氏名 _____ 実施日 年 月 日（産後 日目）

産後の気分についておたずねします。あなたも赤ちゃんもお元気ですか。
最近のあなたの気分をチェックしてみましょう。今日だけでなく、過去7日間にあなたが感じたことに最も近い答えに○をつけて下さい。必ず10項目全部答えて下さい。

- 笑うことができたし、物事のおもしろい面もわかった。
 - () いつもと同様にできた。
 - () あまりできなかった。
 - () 明らかにできなかった。
 - () 全くできなかった。
- 物事を楽しみにして待った。
 - () いつもと同様にできた。
 - () あまりできなかった。
 - () 明らかにできなかった。
 - () ほとんどできなかった。
- 物事が悪くいった時、自分を不必要に責めた。
 - () はい、たいていそうだった。
 - () はい、時々そうだった。
 - () いいえ、あまり度々ではなかった。
 - () いいえ、全くなかった。
- はっきりした理由もないのに不安になったり、心配したりした。
 - () いいえ、そうではなかった。
 - () ほとんどそうではなかった。
 - () はい、時々あった。
 - () はい、しょっちゅうあった。
- はっきりした理由もないのに恐怖に襲われた。
 - () はい、しょっちゅうあった。
 - () はい、時々あった。
 - () いいえ、めったになかった。
 - () いいえ、全くなかった。
- することがたくさんあって大変だった。
 - () はい、たいてい対処できなかった。
 - () はい、いつものようにうまく対処できなかった。
 - () いいえ、たいていうまく対処した。
 - () いいえ、普段通りに対処した。
- 不幸せなので、眠りにくかった。
 - () はい、ほとんどいつもそうだった。
 - () はい、時々そうだった。
 - () いいえ、あまり度々ではなかった。
 - () いいえ、全くなかった。
- 悲しくなったり、惨めになったりした。
 - () はい、たいていそうだった。
 - () はい、かなりしばしばそうだった。
 - () いいえ、あまり度々ではなかった。
 - () いいえ、全くそうではなかった。
- 不幸せなので、泣けてきた。
 - () はい、たいていそうだった。
 - () はい、かなりしばしばそうだった。
 - () ほんの時々あった。
 - () いいえ、全くそうではなかった。
- 自分自身を備つけるという考えが浮かんできた。
 - () はい、かなりしばしばそうだった。
 - () 時々そうだった。
 - () めったになかった。
 - () 全くなかった。

(岡野ら (1996) による日本語版)

妊娠届出時のアンケートの例

東京都
三鷹市

妊娠届出時アンケート

*保健センター保健師からご様子を伺わせていただくことがあります。

1	健康状態はいかがですか <input type="checkbox"/> よい <input type="checkbox"/> 何ともいえない(具体的に) <input type="checkbox"/> 悪い
2	今回、妊娠されてお気持ちはいかがですか <input type="checkbox"/> うれしい <input type="checkbox"/> とまどいを感じる <input type="checkbox"/> つらい <input type="checkbox"/> その他()
3	今までにかかった病気や、現在治療中の病気がありますか <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 腎臓病 <input type="checkbox"/> 心臓病 <input type="checkbox"/> 甲状腺疾患 <input type="checkbox"/> 心の病(うつ病など) <input type="checkbox"/> その他()
4	現在、お酒を飲んでいますか <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
5	現在、たばこを吸っていますか <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
6	現在、同居している家族でたばこを吸っている人はいますか <input type="checkbox"/> はい (吸っている方はどなたですか) <input type="checkbox"/> いいえ
7	同居の家族はどなたですか <input type="checkbox"/> 夫・パートナー <input type="checkbox"/> 子(人) <input type="checkbox"/> 自分の親 <input type="checkbox"/> 夫の親 <input type="checkbox"/> 単身 その他()
8	里帰りする予定はありますか <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
9	妊娠、出産のことで相談できる人や協力してくれる人はいますか <input type="checkbox"/> はい…夫(パートナー) 自分または夫の親 姉妹 友人 その他() <input type="checkbox"/> いいえ
10	出産費用や生活費など、経済的に困っていることがありますか <input type="checkbox"/> はい (<input type="checkbox"/> 生活保護を受けている) <input type="checkbox"/> いいえ
11	妊娠・出産・育児についてご心配なことはありますか。 (保育園については子ども育成課へご相談ください) <input type="checkbox"/> はい(内容) <input type="checkbox"/> いいえ

◆ 外国人の方へ

12	あなたの母国語は何ですか ()
13	日本語を話すことができますか <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 日常会話が可能 <input type="checkbox"/> いいえ

富山県
富山市

母子健康手帳交付年度 R 年度 交付年月日		記号番号
妊娠届出時質問票		
妊婦さんが安心して出産できるよう相談や情報提供を行うために、質問票のご協力をお願いします。		
今回の妊娠	①現在の妊娠週数 妊娠()週 ②妊娠がわかったときの気持ちで一番近いものに○をつけてください ・とても嬉しかった ・予想外で驚いたが嬉しかった ・困った ・特に何も思わなかった ・嫌になった ・その他()	
これまでの妊娠・分娩 <small>※流産・早産・死産を含める</small>	順 性 出産年月 妊娠・分娩の異常 出産時の児の状況	
	例 男 ○○年 ○月 無・有() 健・否()	
	1 年 月 無・有() 健・否()	
	2 年 月 無・有() 健・否()	
	3 年 月 無・有() 健・否()	
4 年 月 無・有() 健・否()		
5 年 月 無・有() 健・否()		
生活習慣	①食生活で気をつけているところはありますか 妊娠前 … あり [3食食べる・食事の内容・食事の時間・間食・その他] ・なし 現在 … あり [3食食べる・食事の内容・食事の時間・間食・その他] ・なし ②つわりは落ち着いてきましたか はい ・ いいえ ③睡眠や休息は十分にとれていますか はい ・ いいえ ④妊娠前から体重の変化はありますか いいえ ・ はい(増加した・減少した) ⑤たばこは吸いますか いいえ ・ はい(現在 本/日) ⑥家族の喫煙状況 なし ・ あり(誰が 本/日) ⑦妊娠してからアルコールを飲んでいますか いいえ ・ はい(毎日・週2~3回・週1回以下)	
健康状態	①今回の妊娠中に、赤ちゃんやあなたの身体に医師から何か問題があるといわれていますか いいえ ・ はい ②今までに心理的・精神的な問題で精神科、心療内科等に相談したことがありますか いいえ ・ はい ③ここ1年間に、うつ状態が2週間以上続いたことがありますか (不眠、イライラする、涙ぐみやすい、何もやる気がしない、食欲不振、精神症状があるなど) いいえ ・ はい	
生活環境	①困ったときに相談する人、何でも打ち明けることのできる人はいますか? いる(誰:) ・ いない ②妊娠・出産・育児について相談・協力してくれる人はいますか いる(誰:) ・ いない ③入籍について 入籍済 ・ 入籍予定(年 月) ・ 入籍予定なし ④生活が苦しかったり、経済的な不安がありますか いいえ ・ はい	
現在お困りのことや心配事があれば○をつけてください ・ご自身の健康面 ・お腹の赤ちゃんのこと ・上の子どものこと ・仕事のこと ・夫との関係(DVなど) ・あなたの実父母のこと ・その他()		
※現在の妊娠週数が20週以降の方のみ記入してください 妊娠届が今日になった理由に○をつけてください ・時間がなかった ・体調が悪かった ・届出方法が分からなかった ・妊娠に気づけなかった ・婚姻や転入手続きを待っていた ・忘れていた ・その他()		
※外国籍の方にお尋ねします 日常の会話について当てはまるものに○をつけてください ・日本語 ・日本語とその他() ・その他(語のみ)		
※以上で質問票は終了となります。ご協力ありがとうございました。 この質問票により、保健師が家庭訪問や連絡をとる場合があります。 いただいた個人情報は市で管理し、保健事業以外で使用することはありません。		

妊娠 8 か月頃面談に使用するアンケートのひな形

- 妊娠 8 か月頃面談の対象者へのアンケートのひな形については、母子健康手帳の様式をもとに以下のとおりお示しますので、こちらを参考に作成いただきたい。

妊娠中の方（妊娠 8 か月頃）へのアンケート
お名前 _____

年齢（ _____ 歳）

妊娠・出産についての相談や情報提供を行うために、以下の質問にご協力をお願いします。
（あてはまるものに☑をつけてください。）

○現在の妊娠週数 妊娠（ _____ ）週 単胎・多胎（ _____ ）

○妊婦健康診査を定期的に受診していますか？ はい（健診受診施設： _____ ） いいえ
※妊娠中は、気がかりなことがなくても、身体にはいろいろな変化が起こっています。きちんと妊婦健康診査を受けましょう。

○分娩予定施設は決まっていますか？ はい（分娩予定施設： _____ ） いいえ

○出産後、相談にのってくれたり、家事や育児のサポートをしてくれる人としてどんな方が思い浮かびますか？
_____（ _____ ）

○出産に向けて、今のお気持ちはいかがですか？

- ・ 楽しみなこと、やってみたいこと

[_____]

- ・ 知りたいこと、気になること（ご自身の健康、赤ちゃんや上のお子さん、ご家族、仕事、保育園、経済面、住まい・生活環境など）

[_____]

○出産を迎える前に、面談を希望しますか。 はい いいえ

※ ○○市記入欄

（備考）

子育てガイドのイメージ（妊娠期）

※ 既に自治体において使用しているセルフプランを活用いただくことも可能

妊娠期

時期	初期			中期			後期		
月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月
週数	4～7週	8～11週	12～15週	16～19週	20～23週	24～27週	28～31週	32～35週	36～40週以降
妊婦健診	4週間に1回					2週間に1回		1週間に1回	
自分や家族ですること	<input type="checkbox"/> 母子健康手帳と妊婦健診受診券を受け取る <input type="checkbox"/> 妊娠届出後の面談を受ける <input type="checkbox"/> ○○アプリに登録する <input type="checkbox"/> 出産する病院を決めて、予約をする <input type="checkbox"/> お酒、たばこをやめる <input type="checkbox"/> 家族や周囲の人に近くで喫煙しないように配慮してもらう <input type="checkbox"/> 里帰り出産をするか決める <input type="checkbox"/> 妊娠中の食事や生活について情報収集する			<input type="checkbox"/> 育児グッズを準備する <input type="checkbox"/> 母親学級・両親学級に参加する <input type="checkbox"/> 産後の家事・育児の分担を家族で話し合う <input type="checkbox"/> 近所の小児科や地域の交流の場(地域子育て支援拠点など)の情報を集め、足を運んでみる <input type="checkbox"/> 里帰り出産の場合は産院を決める			<input type="checkbox"/> 産前の面談を受ける <input type="checkbox"/> 産前・産後のサービス(産後ケアなど)について利用を検討する <input type="checkbox"/> 上の子の出産時の体制を考える(一時預かり、ファミリーサポート等) <input type="checkbox"/> 入院セットを準備する <input type="checkbox"/> 出産時の連絡先リストを作る(産院・タクシーなど) <input type="checkbox"/> 産後の生活をイメージし、自宅の環境を整える		
(利用できるサポート) <input type="checkbox"/> 妊婦訪問 <input type="checkbox"/> 電話相談 <input type="checkbox"/> 母親学級・両親学級 <input type="checkbox"/> 産前・産後サポート事業 <input type="checkbox"/> 養育支援訪問 <input type="checkbox"/> 訪問による家事支援 <input type="checkbox"/> 地域子育て支援拠点などの交流の場 <input type="checkbox"/> ショートステイ ……									
お仕事の関係	<input type="checkbox"/> 出産予定日を会社に伝える。妊娠中の働き方(時間外労働、休日労働、深夜業の制限など)の希望を伝え、相談する <input type="checkbox"/> 体調が悪い場合は、医師や助産師に相談し、「母性健康管理指導事項連絡カード」を勤務先に提出する <input type="checkbox"/> 妊婦健診を受けるための時間が必要な場合は会社に申請する <div style="text-align: right;"> <input type="checkbox"/> 産休について、会社に報告し、取得する(出産後の働き方の希望を伝える) <input type="checkbox"/> 育休について家族で話し合い、会社へ申請する～産後パパ育休も創設されました！～ </div> <p>※妊娠、出産、育児休業等に関してハラスメントを受けた・解雇されたなどのお困りごとはありませんか？ <input type="checkbox"/> 仕事の引き継ぎの準備をする</p>								

子育てガイドのイメージ（産後・子育て期）

子育て期

時期	出産	1歳	2歳
乳幼児健診	1か月健診	3～4か月健診 6～7か月健診 9～10か月健診	1歳6ヶ月健診
産婦健診	2週間健診 1ヶ月健診		
自分や家族ですること	<input type="checkbox"/> 出産後に必要な手続を行う、経済的な支援を受ける <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <input type="checkbox"/> 出生届 <input type="checkbox"/> 公的医療保険の加入 <input type="checkbox"/> 児童手当 <input type="checkbox"/> 児童扶養手当 <input type="checkbox"/> 子どもの医療費助成 <input type="checkbox"/> 出産育児一時金 <input type="checkbox"/> 出産手当金(※) <input type="checkbox"/> 産前・産後の国民年金保険料の免除(第1号被保険者の方)(※) <input type="checkbox"/> 医療費控除 </div> <input type="checkbox"/> 出産後の面談を受ける <input type="checkbox"/> 産後のケアや子育てのサポートを利用する <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (利用できるサポート) <input type="checkbox"/> 産前・産後サポート事業 <input type="checkbox"/> 新生児訪問 <input type="checkbox"/> 産後ケア <input type="checkbox"/> 養育支援訪問 <input type="checkbox"/> 訪問による家事・育児支援 <input type="checkbox"/> 一時預かり <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> ファミリー・サポート・センター <input type="checkbox"/> 子育て講座 <input type="checkbox"/> 地域子育て支援拠点、父親交流会などの交流の場 …… </div>		
お仕事の関係	<input type="checkbox"/> 出産後、慣らし保育期間などを踏まえて、職場復帰の時期を改めて検討する <input type="checkbox"/> 保育所の情報を集め、足を運んでみる→ 利用申込みをする <div style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 育児休業給付金を申請する(原則会社経由) <input type="checkbox"/> 産前産後の社会保険料(健康保険・厚生年金)の免除を申し出る(原則会社経由)(※) <input type="checkbox"/> 育児休業取得中の社会保険料(健康保険・厚生年金)の免除を申し出る(原則会社経由) </div> <div style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 職場復帰に向けて家族で育児・家事の分担や働き方を話し合う <input type="checkbox"/> 夫婦それぞれが職場復帰後の働き方(短時間勤務や残業免除等)について会社と相談する <input type="checkbox"/> ファミリー・サポート・センター、ベビーシッターサービス等の利用を検討する </div>		

※ 出産前に申請をすることも可能です。

出産・子育て応援ギフト申請書(例)

〇〇ギフト申請書 (出産・子育て応援交付金による出産応援ギフト)



市区町村
受付印

〇〇市区町村長

お名前 _____

現住所 _____

連絡先 () _____

妊娠届出日 年 月 日

妊娠届出日時点の住所地 (現住所と異なる場合のみ記載)

出産応援ギフトの支給 (妊婦1人につき5万円相当) を

希望します。



他の自治体で、出産・子育て応援交付金による出産応援ギフトの支給を受けていません。

※ 出産応援ギフトの支給状況などについて、他の自治体に確認することがあります。

希望しません。

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援に必要となる場合には、市町村、医療機関、相談支援関係機関等が把握した情報(妊娠状況や妊婦健康診査受診状況、伴走型相談支援等で活用するアンケート結果や子育てガイドの内容等)について、必要に応じて相互に確認・共有することに同意します。

署名
署名日 年 月 日

〇〇ギフト申請書 (出産・子育て応援交付金による子育て応援ギフト)



市区町村
受付印

〇〇市区町村長

お名前 _____

現住所 _____

連絡先 () _____

お子様の名前 _____

お子様の誕生日 年 月 日

誕生日時点の住所地 (現住所と異なる場合のみ記載)

子育て応援ギフト (お子様1人につき5万円相当) の支給を

希望します。



他の自治体で、出産・子育て応援交付金による子育て応援ギフトの支給を受けていません。

※ 子育て応援ギフトの支給状況などについて、他の自治体に確認することがあります。

希望しません。

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援に必要となる場合には、市町村、医療機関、相談支援関係機関等が把握した情報(産婦健康診査受診状況、産後ケア事業利用状況、伴走型相談支援等で活用するアンケート結果や子育てガイドの内容等)について、必要に応じて相互に確認・共有することに同意します。

署名
署名日 年 月 日

自治体からの質問が多かったQ&A①

○ 伴走型相談支援の**面談実施者**として、「一定の研修を受けた」者とあるが、**どのような研修を想定しているのか**。伴走型相談支援のための研修を国が用意するのか（Q&A問12）。

- ▶ ○ 「一定の研修」とは、
- ・ 利用者支援事業の基本型を実施する利用者支援専門員になるために受講が必要な**「子育て支援員基本研修」及び「専門研修（地域子育て支援コース）の利用者支援事業（基本型）」**や、
 - ・ 地域子育て支援拠点で子育て支援員になるために受講が必要な**「子育て支援員基本研修」及び「専門研修（地域子育て支援コース）の地域子育て支援拠点事業」**を想定。

○ 伴走型相談支援について、**NPO等の民間法人が実施する地域子育て支援拠点等への委託が推奨**されているが、これにどの程度従う必要があるか。市町村判断ということでしょうか（Q&A問13）。

- ▶ ○ 各市町村における人員体制や地域資源の状況等は様々であることから、委託するかどうかについては、そうした地域の実情に応じ、**各市町村でご判断**いただきたい。
- 一方で、市町村の子育て世代包括支援センターと地域の関係機関とが密に情報共有・連携しながら、伴走型相談支援の体制を構築することで、その地域の子育て支援力の底上げが図られ、全ての妊婦・子育て家庭のさらなる安心につながるという観点からは、**NPO等の民間法人が実施する地域の関係機関と協働する形での事業実施を是非ご検討**いただきたい。

○ 子育てガイドは妊娠期から子育て期にかけてのセルフプランとなっているが令和6年度よりこども家庭センターが作成することとしている**サポートプランと両方作成する必要があるのか**（Q&A問16-3）。

- ▶ ○ **子育てガイド**については、**全ての妊婦や子育て家庭を対象に、出産や育児の見通しを寄り添って立てるために活用するもの**。
- **サポートプラン**については、母子保健サービスや子育て支援施策について、支援を必要とする妊産婦・子育て世帯・こどもに確実に支援を届けるため、**支援を要するこどもや妊産婦等について市町村（こども家庭センター）が作成するもの**であり、令和6年4月の改正児童福祉法施行に向けて、当該プランの作成対象者、記載内容や作成フロー等について、現在検討しているところ。
- **市町村においては、それぞれ作成いただくことになるが、子育てガイド作成の際の面談時に得た情報は適宜、サポートプランの作成に引き継いで必要な支援につなげていく**ことを想定。

自治体からの質問が多かったQ&A②

○妊娠8か月頃の面談は全員に対して行う必要があるのか。また、必ず8か月頃に実施しないといけないのか（例えば6か月頃などでもいいのか）（Q&A問18）。

▶ ○ **妊娠8か月頃の面談は、面談を希望する妊婦等のみの実施で差し支えない。**

○ 一方で、全ての妊婦にアプローチする観点から、**全ての対象者に面談の案内文とアンケート用紙を送付し**、一定の期間提出のない妊婦に督促するなどし、アンケートの回答は全て回収いただきたい。

○ なお、アンケートの送付時期は必ずしも7か月頃とする必要はなく、自治体の判断で例えば妊娠届出時に渡すなど、柔軟に取り扱って差し支えない。

○ 国としては、妊娠8か月は、出産間近で産後のことを考え始める時期で、産前休暇に入り面談の時間をとりやすい時期であり、出産に向けてより具体的な準備に入ったり、人によっては不安を感じたりするタイミングと考えて設定しているが、**各自治体のこれまでの取組を活かしながら、自治体の判断で、例えば「妊娠6か月以降面談」として、幅を持たせて面談の2回目と位置づけていただいても差し支えない。**

○出生届出後の面談は乳児健診時に行ってもよいか。その際、面談を産科医療機関に委託することは可能か。（Q&A問19-2）

▶ ○ **伴走型相談支援の出生届出後の面談で実施いただきたい内容**（産後の育児の見通しの確認、利用したい子育て支援サービス（一時預かりや家事支援サービス等）や仕事関係の手続きの確認など）**を3～4か月の乳児健診時に産科医療機関で実施する前提で当該医療機関との契約が可能であれば**、当該機会を活用して、出生届出後の面談を産科医療機関に委託していただいても差し支えない。